

被災地起業ノウハウ学ぶ

GW三島の研修開講

自営業者や学生参加

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は4日、東日本大震災の被災地でNPOや社会的企業を志す人々を対象にした5日間の研修(インターンシップ)を三島市内で始めた。宮城県など被災地から参加した85人を含む165人が参加し、初日の講義を聴いた。

参加者の顔触れは自 震災で職を失った人、
 営業者や学生のほか、主婦など多彩。このう
 で起業を目指し、研修
 でビジネスプランの作
 成にも取り掛かる。宮
 城県石巻市の仮設住宅
 から参加した元水産業
 の大内勝さん(55)は
 「5年、10年先を見据
 えてまちを再生するに
 は何が必要か学びにき
 いた。地元の役に立つビ
 ジネスのヒントを探し
 たい」と話した。



初日は同市文教町の
 日大国際関係学部で行
 い、GW三島の渡辺豊
 博専務理事らが講義し
 NPOや社会的企業の役割
 について講義を受ける研修
 参加者＝三島市文教町の日
 大国際関係学部

た。「地域の問題を直
 視し、戦略的なアプロ
 ーチを仕掛けてほし
 い」と呼び掛け、課題
 解決を図りながら資金
 調達の手だてとなる
 「NPOビジネス」の
 有用性を説いた。
 研修は8日まで。期
 間中、水辺環境が再生
 した源兵衛川や、GW
 三島が運営する「街中
 カフェ」など市内の実
 践地も見学する。